

試験アドバイス

1 直前期

ポイント・・・限られた勉強時間です。

直前期は受験勉強の**まとめの時期**です。すべての科目の内容を正しく理解する勉強が本来の勉強ですが、直前期の勉強は受験において、**どうまとめるか**が大事です。

択一式は70%をしっかりと目標にしましょう。受験勉強に必要な知識は**基本事項の確認と過去問演習**です。

2 直前期の勉強スケジュールを今一度見直す。

模擬試験の復習。各科目の答案練習の復習。数字のまとめ。白書対策、選択式対策等・・・・・・とやるべきことは、たくさんあります。直前は科目単位の**まとめの時期**です。**なにをどう進めるのか？**試験までの日程を今一度見直しましょう。

★テキストのAの箇所の条文を読み込む

★5年分の過去問を見て繰り返し出題されている問題を再度解く

★過去問と模試等の選択式問題を繰り返し解く。

3 まず最初に勉強すべき重要な箇所は？

■労働基準法

①総則 ②年次有給休暇 ③就業規則

■労働安全衛生法

①元請負 ②健康診断

■労災保険法

①業務上の事由 ②特別加入 ③遺族補償給付

■雇用保険法

①基本手当 ②育児休業給付 ③高年齢被保険者の求職者給付

■徴収法

- ①保険関係の成立及び消滅 ②労働保険事務組合 ③延納

■健康保険法

- ①保険者 ②標準報酬 ③保険料

■国民年金法

- ①被保険者 ②遺族基礎年金 ③付加年金・寡婦年金・死亡一時金

■厚生年金保険法

- ①被保険者 ②加給年金 ③遺族厚生年金

■労働の一般常識

- ①労働契約法 ②労働組合法 ③社会保険労務士法

■社会保険の一般常識

- ①国民健康保険 ②介護保険 ③高齢者の医療の確保に関する法律

4 勉強時間の確保

直前期の勉強の大きな課題は勉強時間の確保です。過去の合格者の勉強時間の工夫で多いのが、朝の勉強時間でした。毎朝2時間の勉強時間の確保でした。

土曜日、日曜日も大事な勉強時間ですが、毎日の中でも工夫が必要です。

1日24時間 - 仕事10時間 = 14時間

14時間 - 睡眠時間7時間 = 7時間

7時間 - 生活必要時間3時間 = 残り4時間（現実には3時間程度でしょう）

★毎日異なる内容を勉強する

例1 朝 通勤時間＝問題集 昼休み等 数字の暗記 帰りの通勤 テキストの読み込む

例2 朝 通勤時間＝労基法問題集 昼休み等 数字の暗記 帰りの通勤 健康保険法テキストの読み込む

例3 朝 通勤時間＝国民年金テキスト 昼休み等 数字の暗記 帰りの通勤 問題集

★具体的な勉強事例

例1 朝 通勤時間＝労基法年次有給休暇過去問 昼休み等 選択式 1問
帰りの通勤 定時決定過去問

例2 朝 通勤時間＝厚生年金保険料過去問 昼休み等 選択式 1問
帰りの通勤 国民年金保険料免除過去問

例3 朝 通勤時間＝就業規則テキスト読み込み 昼休み等 選択式 1問
帰りの通勤 就業規則過去問